

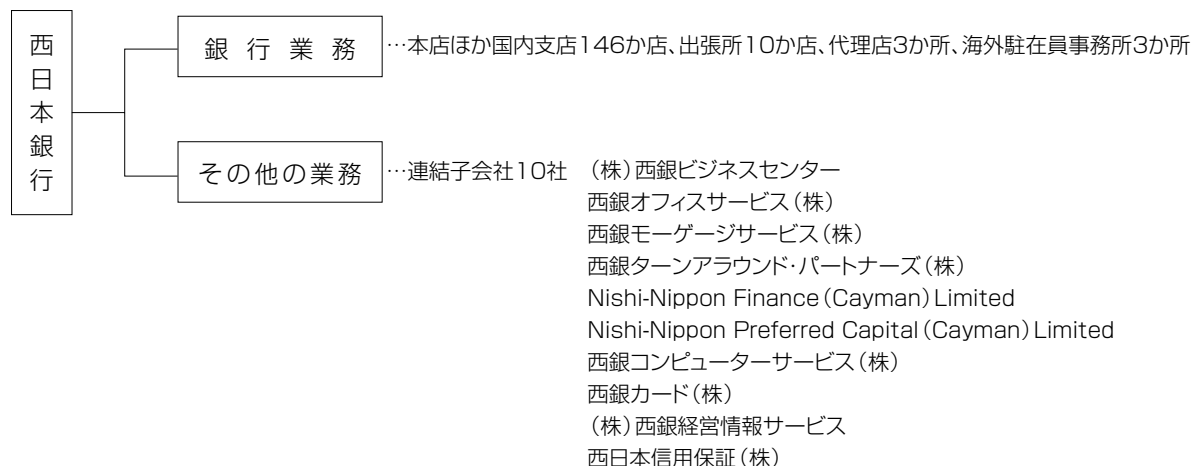


企業集団等の概況 (平成16年3月31日現在)

企業集団の事業の内容

当行グループ(当行及び当行の関係会社)は、当行及び子会社10社で構成され、銀行業務を中心に金融サービスに係る事業を行っております。
 なお、平成15年4月1日、西銀カード株式会社は西銀ジェーシーピーカード株式会社を吸収合併いたしました。
 また、平成15年9月1日、会社分割を前提として、債権管理・企業再生支援を行う100%子会社の西日本分割準備株式会社(現・西銀ターンアラウンド・パートナーズ株式会社)を設立いたしました。

企業集団の事業系統図



子会社・関連会社

(1) 連結子会社

| 会社名 | 所在地 設立年月日 | 資本金 | 業 務 内 容 | 議決権比率(単位%) | |
|---|---|-----------|--|------------|------|
| | | | | 銀 行 | 子会社等 |
| 株式会社西銀ビジネスセンター | 福岡市早良区百道浜1-7-6 昭和56年9月1日 | 20百万円 | 事務受託業務 | 100 | — |
| 西銀オフィスサービス株式会社 | 福岡市博多区博多駅前1-3-6 昭和63年4月5日 | 20百万円 | 人材派遣業務 | 100 | — |
| 西銀モーゲージサービス株式会社 | 福岡市博多区博多駅前1-3-6 平成6年10月3日 | 50百万円 | 担保不動産調査・評価業務 | 100 | — |
| 西銀ターンアラウンド・パートナーズ株式会社 | 福岡市博多区博多駅前1-3-6 平成15年9月1日 | 90百万円 | 金銭の貸付及び手形の割引 経営コンサルティング業 | 100 | — |
| Nishi-Nippon Finance(Cayman)Limited | P. O. Box 309 Uglend House South Church Street, George Town, Grand Cayman, Cayman Islands, British West Indise. 平成8年2月21日 | 10千ドル | 投融資業務 | 100 | — |
| Nishi-Nippon Preferred Capital(Cayman)Limited (***) | P. O. Box 309 Uglend House South Church Street, George Town, Grand Cayman, Cayman Islands, British West Indise. 平成14年2月12日 | 21,800百万円 | 投融資業務 | 100 | — |
| 西銀コンピューターサービス株式会社 | 福岡市早良区百道浜1-7-6 昭和60年1月26日 | 50百万円 | 情報処理・計算受託業務 | 5.0 | 53.0 |
| 西銀カード株式会社 (**) | 福岡市博多区下川端町2-1 昭和58年8月2日 | 81百万円 | クレジットカード業務、信用保証業務 | 42.6 | 4.3 |
| 株式会社西銀経営情報サービス | 福岡市博多区下川端町2-1 昭和61年12月5日 | 20百万円 | コンサルティング、企業診断、各種研修、 出版業務、ベンチャーキャピタル業務 | 5.0 | 35.0 |
| 西日本信用保証株式会社 | 福岡市博多区下川端町2-1 昭和59年4月24日 | 50百万円 | 信用保証業務 | 1.0 | 52.0 |

1.※ 西銀カード株式会社は、平成15年4月1日をもって西銀ジェーシーピーカード株式会社を吸収合併いたしました。

2. 平成15年9月1日、西日本分割準備株式会社を設立し、同社は平成15年11月21日に西銀ターンアラウンド・パートナーズ株式会社へ商号変更いたしました。

3.***Nishi-Nippon Preferred Capital(Cayman)Limitedへの出資状況はつぎのとおりであります。

議決権付普通株式 1,000百万円(当行出資比率100%)
 議決権のない優先株式 20,800百万円(当行出資比率—%)

企業集団等の状況

■ 企業集団の業績

平成15年連結会計年度(平成15年4月1日～平成16年3月31日)における営業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業部門が牽引してきた輸出や設備投資の増勢を背景とした回復基調が、国内株価や個人消費の持ち直しへと徐々に波及し、本格的な景気回復への期待感が着実に高まりつつ推移いたしました。

この間、金融界においては、政府・日銀が一体となって金融・資本市場の安定とデフレ克服を目指すなか、主要行は不良債権の最終処理促進への取組みを継続する一方、地域金融機関は「リレーションシップバンキングの機能強化計画」を公表し、中小企業再生と地域経済活性化を図るための具体的取組みを展開させております。

このような金融経済環境のなか、当連結会計年度の損益状況は次のようになりました。

経常収益は前年同期比53億49百万円減少し1,118億47百万円となりましたが、経常費用においても営業経費や有価証券の減損処理の減少等により前年度比235億10百万円減少し999億50百万円となりました。この結果、経常利益は前年度比181億60百万円増加し118億96百万円となりました。また、合併に向けた財務体質強化の観点から繰延税金資産の圧縮を図り、当期純利益は36億85百万円となりました。

なお、国内基準による連結自己資本比率は8.79%となりました。

最近5連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移

(単位:百万円、%)

| 種 類 | 連結会計年度 | | | | |
|------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| | 平成11年度 (平成11年4月1日～12年3月31日) | 平成12年度 (平成12年4月1日～13年3月31日) | 平成13年度 (平成13年4月1日～14年3月31日) | 平成14年度 (平成14年4月1日～15年3月31日) | 平成15年度 (平成15年4月1日～16年3月31日) |
| 連結経常収益 | 160,198 | 142,850 | 136,315 | 117,197 | 111,847 |
| 連結経常利益 (△は連結経常損失) | 7,335 | △40,736 | △99,031 | △6,263 | 11,896 |
| 連結当期純利益 (△は連結当期純損失) | 3,505 | △32,947 | △56,963 | △7,635 | 3,685 |
| 連結純資産額 | 219,816 | 190,939 | 124,721 | 118,436 | 129,053 |
| 連結総資産額 | 4,533,402 | 4,622,902 | 4,213,929 | 3,969,065 | 3,853,378 |
| 連結自己資本比率 (国際統一基準) | 10.68 | 9.67 | — | — | — |
| 連結自己資本比率 (国内基準) | — | — | 8.58 | 8.43 | 8.79 |

(注) 1. 連結自己資本比率は、銀行法第14条の2の規定に基づく大蔵省告示に定められた算式に基づき算出しております。なお、当行は平成13年度より国内基準を適用しております。

連結リスク管理債権額

(単位:百万円)

| 種 類 | 前連結会計年度 (平成15年3月31日) | 当連結会計年度 (平成16年3月31日) |
|------------|-------------------------|-------------------------|
| 破綻先債権額 | 41,573 | 30,691 |
| 延滞債権額 | 163,885 | 132,296 |
| 3か月以上延滞債権額 | 279 | 344 |
| 貸出条件緩和債権額 | 74,917 | 54,749 |

(注) 1. 債権額は、貸出金のほか求償債権、カード債権を含めて記載しております。

2. 債権額は、西日本銀行及び下記連結子会社10社の連結ベースで記載しております。

・株式会社西銀ビジネスセンター ・西銀オフィスサービス株式会社 ・西銀モーゲージサービス株式会社 ・西銀ターンアラウンド・パートナーズ株式会社
 ・Nishi-Nippon Finance (Cayman) Limited ・Nishi-Nippon Preferred Capital (Cayman) Limited ・西銀コンピューターサービス株式会社
 ・西銀カード株式会社 ・株式会社西銀経営情報サービス ・西日本信用保証株式会社